

(解答番号 1 ~ 52)

I 次の文章を読み、下記の問(問1~6)に答えよ。

人生の節目で行われる「冠婚葬祭」は、歴史的にさまざまな変遷を経てきた。ここでは、原始・古代における「冠婚葬祭」について述べてみたい。

成人式を意味する「冠」に相当する風習としては、(a)時代にみられる菟首があげられる。律令制下では、21歳以上が成人を意味する「丁」とされた。平安時代の貴族社会では、10~15歳くらいで男性は元服、女性は裳着の式をあげ、貴族の男性は正装の(b)や略式の衣冠では「冠」を着用した。

結婚を意味する「婚」は、奈良時代の頃には妻問婚が一般的であったが、庶民層には、婿入婚・嫁入婚の形式もみられた。また、実際に残っている戸籍から夫婦別姓であったことがわかる。平安時代の貴族社会でも妻問婚の伝統が残り、子は母方で養育されることが多かった。(c)藤原氏が外戚関係を利用して権力を握った背景には、母方の縁が重視されたこともあった。

葬送にあたる「葬」では、まず(a)時代に手足を折り曲げて葬る風習が行われたことが特徴的である。この風習は、死者の霊が生者に災いをおよぼすことを恐れたためと推測されている。(d)古墳時代には、墳墓として墳丘を持つ古墳がつけられ、埋葬施設として石室が設けられたが、終末期古墳である(e)古墳の石室のように大陸文化の影響を受けた壁画が描かれている例もある。飛鳥時代には、(d)世紀に(e)から伝来した、仏教の影響もあって火葬が行われるようになった。(f)持統天皇以降、天皇も火葬されるようになった。奈良時代から平安時代にかけては、火葬のほか、土葬などそのまま遺体が葬られることも多かったが、平安時代末期に平泉を拠点に繁栄を誇った奥州藤原氏3代のように(f)の阿闍梨堂(金堂)に遺体が安置されミイラ化したような例もある。

祭祀を意味する「祭」については、古墳時代に氏の祖先神や守護神が氏神として祀られ始め、飛鳥時代には大海人皇子が(g)の乱に際して勝利を祈願し、以後、天皇の祖先神として伊勢神宮が国家的な祭祀の対象となった。平安時代には御霊信仰が広まり、北野天満宮は藤原時平の策謀によって大宰府に左遷された(h)を祭神として創建された。

問1 本文中の空欄(a)~(h)に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。1 ~ 8

- 1 (a) ① 旧石器 ② 先石器 ③ 縄文 ④ 弥生
2 (b) ① 束帯 ② 十二単 ③ 水干 ④ 小袖
3 (c) ① 大仙陵 ② 掃部山 ③ 江田船山 ④ 高松塚
4 (d) ① 4 ② 5 ③ 6 ④ 7
5 (e) ① 百濟 ② 新羅 ③ 高句麗 ④ 秦漢郡
6 (f) ① 平等院 ② 中尊寺 ③ 富貴寺 ④ 法成寺
7 (g) ① 壬申 ② 応仁 ③ 乙巳 ④ 天慶
8 (h) ① 藤原広嗣 ② 藤原純友 ③ 菅原道真 ④ 早良親王

問2 下線部(1)について、日本ではじめて全国を対象とする戸籍を作成した天皇として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。9

- ① 推古天皇 ② 天智天皇 ③ 天武天皇 ④ 持統天皇

問3 下線部(2)について、天皇家と姻戚関係を結んだ藤原氏に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。10

- ① 藤原不比等は、娘の光明子を文武天皇に嫁がせ、天皇家と密接な関係を築いた。
② 藤原良房は、天皇の外祖父として臣下ではじめて関白となった。
③ 藤原忠平は、藤原氏を外戚とする醍醐天皇のもとで、摂政・関白をつとめた。
④ 藤原道長は、4人の娘を天皇や皇太子のもとに嫁がせ、朝廷で権勢をふるった。

問4 下線部(3)について、古墳は時期によって形態や副葬品に違いがみられる。古墳時代中期の形態(X)、副葬品(Y)と、それぞれに關係の深い語句a~dとの組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。11

- a 八角墳 b 前方後円墳 c 武具・馬具 d 百万塔陀羅尼
① X-a Y-c ② X-a Y-d
③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

問5 下線部(4)について、伝来後の仏教の動向に関して述べた次の文I~IIIについて、古いものから年代順に配列したものとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。12

- I 入唐した円仁・円珍が、天台宗に密教を取り入れた。
II 天台宗の僧であった源信が、『往生要集』を著した。
III 鎮護国家の思想のもと、国分寺建立の詔が出された。

- ① I-II-III ② II-I-III ③ III-I-II ④ III-II-I

問6 下線部(5)について、持統天皇の政策に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。13

- ① 持統天皇は、八色の姓を定めて家族を天皇中心の新たな身分秩序に編成した。
② 持統天皇は、唐にならって和同開珎の鑄造を行った。
③ 持統天皇は、宮の周圍に条坊制を持つ基正京に遷都した。
④ 持統天皇は、大宝令の前身となる飛鳥淨御原令を施行した。

II 次の年表をみて、下記の問(問1~6)に答えよ。

年表(出来事の左の数字は西暦年)

Table with 4 columns: Year, Event, Year, Event. Rows include 1180, 1185, 1221, 1246, 1272, 1318, 1333.

問1 年表中の空欄(a)~(h)に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。14 ~ 21

- 14 (a) ① 高望王 ② 長屋王 ③ 以仁王 ④ 経基王
15 (b) ① 公文所 ② 問注所 ③ 政所 ④ 侍所
16 (c) ① 北条時政 ② 北条義時 ③ 北条政子 ④ 北条泰時
17 (d) ① 北条時政 ② 北条義時 ③ 北条政子 ④ 北条泰時
18 (e) ① 藤原頼経 ② 藤原頼嗣 ③ 源頼家 ④ 源実朝
19 (f) ① 北条時房 ② 北条時頼 ③ 北条時宗 ④ 北条時行
20 (g) ① 光厳 ② 光明 ③ 龜山 ④ 後深草
21 (h) ① 足利高氏 ② 足利直義 ③ 楠木正成 ④ 新田義貞

問2 下線部(1)について、地頭の役割に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。22

- ① 荘園・公領から年貢を徴収し、それぞれの領主へ納入した。
② 国衙の権限を吸収して、荘園・公領ごとの田地面積を大田文として記録した。
③ 諸国において、謀叛人・殺人者を逮捕することが任務とされた。
④ 荘園・公領に使節を派遣して、幕府の裁定を強制執行した。

問3 下線部(2)について、後鳥羽上皇の命によって編纂されたものとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。23

- ① 『古今和歌集』 ② 『新古今和歌集』 ③ 『金枝和歌集』 ④ 『夷雲集』

問4 下線部(3)について、京都の東寺に伝わる『東寺百合文書』には「関東より六波羅に送らるる御事書の法」として次の内容を記した史料が残されている。この史料について述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。24

一、買券売買地①の事
右、所領を以て買入は買券に入れ流し、或いは売買せしむるの衆、御家人等佐領②の基なり。向後③に於ては、停止に従ふべし。以前治却④の分に至りては、本主領事⑤せしむべし。但し、或いは御下文・下知状⑥を成し給ひ、或いは知行廿箇年を過ぎば、公私の領を論ぜず、今更相違有るべからず。若し御符に背き、蓋券を致すの輩有らば、罪科に処せらるべし。
次に非御家人・凡下の輩⑦の買券買地⑧の事。年紀⑨を過くと雖も、売主知行せしむべし。

- ①買券売買地：買入れや売買した土地。
②佐領：国衙する。
③向後：今後。
④治却：売却。
⑤領事：領有して支配すること。
⑥御下文・下知状：幕府が土地の譲渡・売却を認めた公文書。
⑦凡下の輩：一般庶民。
⑧年紀：取得時効20年。

(『東寺百合文書』原漢文)

X 史料に基づけば、半世紀前に御家人が別の御家人に売り渡した所領について、売主の御家人は取り戻すことができた。

Y 史料に基づけば、半世紀前に御家人が非御家人に売り渡した所領について、売主の御家人は取り戻すことができた。

- ① X-正 Y-正 ② X-正 Y-誤
③ X-誤 Y-正 ④ X-誤 Y-誤

問5 下線部(4)について、後醍醐天皇に関して述べた次の文X・Yと、それぞれに關係の深い語句a~dとの組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。25

X 後醍醐天皇の皇子が鎌倉に連れられ、名目だけではあったが、征夷大将軍に就いた。
Y 後醍醐天皇の院政下において、幕府にならって設置され、朝廷政治の刷新につとめた。

- a 護良親王 b 宗尊親王 c 院近臣 d 院評定衆

- ① X-a Y-c ② X-a Y-d
③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

次のページに問6あり

問6 年表中の(5)の1246年～1333年の間におきた出来事に関して述べた文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に配列したものと最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。

26

- Ⅰ 得宗北条貞時のもと、内管領平頼綱が権勢をふるった。
- Ⅱ 得宗北条高時のもと、内管領長崎高資が権勢をふるった。
- Ⅲ 御家人の所領に関する訴訟を専門にあつかう引付を設置した。

- ① Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ ② Ⅱ-Ⅰ-Ⅲ ③ Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ ④ Ⅲ-Ⅱ-Ⅰ

次ページにつづく

Ⅲ 次の文章を読み、下記の問(問1～6)に答えよ。

17世紀前半、幕藩体制が安定して支配機構が整備されるのにもない、^①武士の城下町への集住が進んだ。城下町では貨幣経済が展開しており、諸藩は経費をまかなう際にも^②幕府が発行する貨幣を調達しなければならなかった。そのため幕府・諸藩は、年貢米を換金する必要があった。しかし、諸藩の多くは領内に大量の米を換金できるほどの消費市場をもっていなかったため、大坂・京都などの畿内各地、または江戸に年貢米を運んだ。また、菱垣廻船が就航して大坂から江戸へ日常生活物資も運送されたが、一元化した流通構造ではなかった。

17世紀後半に江戸の商人(a)によって西廻り航路が整備されると、日本海沿岸の各地から積み替えなして物資を運ぶことができるようになり、東北・北陸・山陰地方の諸藩は大坂に年貢米を運送した。また、年貢米を大坂に運送する諸藩は、年貢米を担保として両替商から融資をうけたため、^③大坂への集荷構造が形成された。一方、江戸ではまだ膨大な消費需要を満たすほどの手工業は発達しておらず、東廻り航路を通じて運送される年貢米や、上方から運送される下り物によって消費需要はまかなわれた。下り物のうち酒は、18世紀前半に江戸(b) 組問屋から酒店組が離脱して結成された樽廻船問屋によって運ばれたが、次第に酒以外の荷物も運ぶようになったため、菱垣廻船問屋との間でしばしば競争がおきた。

18世紀以降、野田の(c)、(d)の絹織物など関東で手工業が発達して、江戸地廻り経済圏が成立すると、関東産の加工品が大量に江戸に運ばれ、江戸における下り物の割合は低下した。また18世紀後半には、各地に地域市場が形成され、在郷商人や日本海の(e) など船主自身が物資を買い積み方式をとった新興船業者を中心に、各地で大坂を経由せずに江戸やその他の消費地に直送するようになり、大坂の商品集荷力が低下した。

19世紀前半になると、株仲間流通独占に対し、幕領・私領の枠をこえて結びついた村々による国藩をうけて流通の自由化がみられ、大坂・江戸の株仲間のもつ集荷力は低下した。一方、薩摩藩が松前から長崎に運送されるはずの(f) を途中の船から買い上げて、^④琉球王国を通じて清に売ったり、(g) 藩が越前方を設置するなど、諸藩が従来の流通構造に変化を加えていた。その中で、幕府は物価引下げを期待して株仲間解散令を出したが、江戸への商品流通を一層滞らせることになった。その後、株仲間は再興されたが、19世紀後半に^⑤列強との通商が始まると、(h) 港への商品直送が横行した。幕府は五品江戸廻り通令でこれを禁じようとしたが、輸出向け商品をつあかう在郷商人や列国からの反対で効果は上がらず、大坂・江戸の間居中心の流通構造は崩壊した。

問1 本文中の空欄(a)～(h)に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。 [27]～[34]

- [27] (a) ① 角倉了以 ② 茶屋四郎次郎 ③ 河村瑞賢 ④ 三井高利
- [28] (b) ① 五 ② 十 ③ 二十四 ④ 六十五
- [29] (c) ① 陶磁器 ② 漆器 ③ 黒砂糖 ④ 醤油
- [30] (d) ① 行徳 ② 桐生 ③ 甲府 ④ 西陣
- [31] (e) ① 北前船 ② 高瀬船 ③ 丸木舟 ④ 内海船
- [32] (f) ① 金 ② 銀 ③ 生糸 ④ 依物
- [33] (g) ① 長州 ② 肥前 ③ 土佐 ④ 越前
- [34] (h) ① 浦賀 ② 兵庫 ③ 新潟 ④ 横浜

問2 下線部(1)について、武士の城下町への集住につながる側面をもった法令として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [35]

- ① 一国一城令 ② 分地制限令 ③ 田畑永代売買の禁止令 ④ 生類憐みの令

問3 下線部(2)について、幕府が発行した貨幣に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [36]

- ① 正徳小判は、勘定吟味役萩原重秀の意見によって改鋳された金貨である。
- ② 丁銀・豆板銀などの銀貨は、重さを計って価値を決める計数貨幣であった。
- ③ 江戸時代初期に開設された銅座で、永楽通宝が大量に鋳造された。
- ④ 取引の際、江戸では主に金貨が使用され、大坂では主に銀貨が使用された。

問4 下線部(3)について、大坂では年貢米以外にもさまざまな物が集荷された。それにともない、大坂で発達した卸売市場として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [37]

- ① 神田の青物市場 ② 天満の青物市場 ③ 日本橋の魚市場 ④ 堂島の魚市場

問5 下線部(4)について、琉球王国の使節に関して述べた文X・Yと、これに関連する用語a・bとの組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [38]

- X 国王の代替わりごとにその就任に際して、幕府に派遣された。
- Y 将軍の代替わりごとにその就任に際して、幕府に派遣された。

- a 通信使 b 慶賀使
- ① X-a ② X-b ③ Y-a ④ Y-b

問6 下線部(5)について、列強との通商に関して述べた文として適切でないものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [39]

- ① 日米和親条約調印の勅許が得られないまま、列強との通商が始まった。
- ② 安価な綿織物の大量輸入によって、農村で発達していた綿織物業が圧迫された。
- ③ 日本と外国との金銀比価が異なっていたため、多量の金貨が海外に流出した。
- ④ 改税約書の調印によって、貿易における関税の不平等性が強まった。

Ⅳ 次の文章を読み、下記の問（問1～6）に答えよ。

1870年代の日本は、日清修好条規を締結して清と対等な国交を結ぶ一方、(a) 事件を機に結んだ日朝修好条規で朝鮮を「自主ノ邦」と規定し、17世紀以来の清と朝鮮との宗属関係を否定した。

1882年におきた(b) では、清が軍事介入して鎮圧した後、朝鮮への内政干渉を深めて朝鮮に対する宗主権の強化をはかった。その一方、日本は朝鮮政府と清物浦条約を締結して軍隊の駐留権を獲得したこともあり、日朝修好条規締結から潜在的にあった朝鮮をめぐる日清間の対立が顕在化した。1884年には、清仏戦争を機に、朝鮮の独立党が日本公使館の援助を得て(c) をおこしたが、再び清に鎮圧された。この事件で日清関係は悪化したものの、軍事衝突を回避するために(d) 天津条約が締結され、日清間の緊張は緩和された。

1880年代後半から1890年代にかけて、英露対立の影響が東アジアにもおよぶと、ロシアの朝鮮進出への不安が高まり、(e) 日本政府内ではロシアに対抗するために清と協調する考えが強まった。このように清との提携を念頭におきながらも、一方で日本は軍備拡張も進めた。1894年におきた(d) では、清と日本が朝鮮に出兵したが、これがきっかけとなり日清戦争が勃発した。日清戦争に勝利した日本は清と下関条約を締結し、遼東半島・台湾・澎湖諸島の日本への割譲を決定した。その後、ロシア・フランス・(e) の三国干渉をうけて遼東半島は返還することになったが、(f) 台湾については1945年まで植民地として支配した。

日清戦争後、列強は相次いで中国に進出し、租借地を拠点に鉄道建設を進めた。中国への進出競争で他の列強より出遅れた(f) は、門戸開放宣言を出して中国分割には反対した。しかし、一方でスペインとの戦争に勝利して(g) を植民地化した。(h) アジア・太平洋への進出をはかった。日本も日露戦争を経て、南樺太・朝鮮を支配し、(h) を設置するなど満洲への進出の足がかりをつくった。

こうして列強の帝国主義化の動きが強まるなか、日清・日露戦争を経て、日本も本格的な帝国主義国家となった。

問1 本文中の空欄(a)～(h)に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。[40]～[47]

- | | | | | |
|------|--------------|-----------|---------|-----------|
| [40] | (a) ① ハーク密使 | ② ノルマントン号 | ③ 江華島 | ④ 琉球漂流民救済 |
| [41] | (b) ① 三浦の乱 | ② 寧波の乱 | ③ 壬辰倭乱 | ④ 壬午軍乱 |
| [42] | (c) ① 辛亥革命 | ② 甲申事変 | ③ 戊辰戦争 | ④ 防殺令事件 |
| [43] | (d) ① 甲午農民戦争 | ② 義和団戦争 | ③ アヘン戦争 | ④ アロー戦争 |
| [44] | (e) ① アメリカ | ② イギリス | ③ オランダ | ④ ドイツ |
| [45] | (f) ① アメリカ | ② イギリス | ③ フランス | ④ ドイツ |
| [46] | (g) ① インドネシア | ② シンガポール | ③ フィリピン | ④ ベトナム |
| [47] | (h) ① 東洋拓殖会社 | ② 鈴木商店 | ③ 鎮台 | ④ 関東都督府 |

問2 下線部(1)について、1870年代の日本と清・琉球との関係にかかわる出来事に関して述べた文I～IIIについて、古いものから年代順に配列したものと最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。[48]

- I 清が現地住民の殺傷行為に関する責任を回避したため、日本政府は台湾に出兵した。
- II 台湾に漂着した琉球の漁民が、現地住民に殺害される事件が発生した。
- III 日本政府は琉球藩を廃止して沖縄県を設置し、琉球王国は完全に滅亡した。

- ① I - II - III ② II - I - III ③ II - III - I ④ III - I - II

問3 下線部(2)について、天津条約の内容として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。[49]

- ① 日本に最恵国待遇をあたえること
- ② 清が朝鮮の独立を認めること
- ③ 朝鮮への出兵時における相互事前通告
- ④ 漢冶萍公司の日中共同経営の承認

問4 下線部(3)について、1890年代の日露関係に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。[50]

- ① ロシア革命の影響をうけて、日本でもマルクス主義に基づく学問が発達した。
- ② 訪日中のロシア皇太子が、滋賀県大津で警備の巡査に切りつけられる事件がおきた。
- ③ 樺太・千島交換条約を結んで、ロシアに樺太領有を認め、千島全島を日本領とした。
- ④ 日英同盟を結んで、イギリスの力を盾にロシアを制御しようとした。

問5 下線部(4)について、日本の植民地下における台湾に関して述べた文として適切でないものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。[51]

- ① 初代台湾総督には、海軍軍人の樺山資紀が就任した。
- ② 日本の資本家が進出し、製糖業で利益をあげた。
- ③ 台湾の中華民国とのあいだで、日華平和条約を結んだ。
- ④ 太平洋戦争時、台湾でも徴兵制が施行された。

問6 下線部(5)について、明治時代から大正時代のアジア・太平洋地域における日本の利権に関して述べた文X・Yと、条約a・bとの組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。[52]

- X 赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の委任統治権を獲得した。
- Y 沙市・重慶・蘇州・杭州の4港を開港させた。

- a 九カ国条約 b ヴェルサイユ条約

- ① X - a ② X - b ③ Y - a ④ Y - b

(解答番号 1 ~ 52)

I 次の文章を読み、下記の問(問1~6)に答えよ。

律令国家では、全国を「国」に区分して、国司をおいた。国司は、中央から一定の任期で地方の国府に派遣されて国の政務や儀式にあたった。国府の近くには、(a)に基づいて8世紀中頃から(b)が建立されるなど、国家の安定をはかろうとした。当初、国数は変遷したが、824年に66国とされたと、この国数が定着した。国司は天皇や太政官の命令を郡司に伝え彼らを指揮したが、民衆の支配は当初、もとの(c)など地方豪族が任命された郡司が持つ、伝統的な支配力に依存していた。しかし、天平年間に、各郡の正倉に蓄えられる稲穀が正税として国司の一元的管理下におかれると、次第に郡司の支配力が低下し、国司による支配が強まった。

奈良時代の初期荘園は、律令制支配機構に依存して営まれたが、平安時代になると、国司の支配力が強まるなかで、官人たちもみずからの墾田を増やすようになった。特に、院宮王臣家は、有力農民である富豪層を取り込み、私的に多くの土地を集積した。10世紀初頭の(d)の荘園整理令では、勸旨田とともに、こうした院宮王臣家の土地集積が禁じられた。この頃は、国司の交替制度も整備され、任用に赴任する国司の最上階者(ふつうは四等官の長官である(e))である受領に、権限が集中するようになった。代表的な受領としては、尾張国(e)藤原元命があげられる。

11世紀になると、地方に上着した国司や大名田堵のなかで、大規模な開発を行う者があらわれた。彼らは荒田・荒野の開発を国衛に申請し、国免状としてその土地を私有する権利をもって、開発領主と呼ばれた。11世紀後半、こうした国免状に対して、(f)は(g)の荘園整理令を出して、記録荘園券契のもと、証拠書類に不備があるものを徹底的に整理した。しかし、この頃は、開発領主が土地を中央の有力者に寄進することもあり、院政期には中央の中・下級貴族らが開発領主の寄進を天皇家・有力貴族・大寺社に仲介し、開発私領を中核にその周囲の土地を広く囲い込んだ荘園が天皇によって設立された。こうした過程を経て形成された天皇家の荘園群としては、鳥羽上皇が伝えた(h)領がある。また、受領も交替の時代以外は任用に赴かなくなり、上皇のもとで院近臣となる者もあらわれた。こうした状況のなかで、院政期には廻行国の制度が広まるなど、国の支配体制は変化していった。

問1 本文中の空欄(a)~(h)に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。 [1] ~ [8]

- 1 (a) ① 悪人正機説 ② 本地垂迹説 ③ 鎮護国家の思想 ④ 文章経国思想
2 (b) ① 薬師寺 ② 大官大寺 ③ 因分寺 ④ 安国寺
3 (c) ① 大連 ② 部曲 ③ 国造 ④ 屯倉
4 (d) ① 延喜 ② 延久 ③ 寛徳 ④ 天曆
5 (e) ① 目 ② 介 ③ 守 ④ 掾
6 (f) ① 堀河天皇 ② 後白河天皇 ③ 村上天皇 ④ 後三条天皇
7 (g) ① 延喜 ② 延久 ③ 寛徳 ④ 天曆
8 (h) ① 持明院 ② 長講堂 ③ 八条院 ④ 大乗院

問2 下線部(1)について、平安時代には、国司は一定の財物を官に納め、任期満了後同一の官職に再任された。このことを示す語句として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [9]

- ① 重祚 ② 重任 ③ 逢任 ④ 祗制

問3 下線部(2)について、古代の国のうち、摩羅国(X)・陸奥国(Y)と、それぞれの行政区画a~dとの組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [10]

- a 南海道 b 西海道 c 北陸道 d 東山道
① X-a Y-c ② X-a Y-d
③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

問4 下線部(3)について、次の史料は延暦十一年(792)年に発給された太政官符である。この史料について述べた下の文X・Yに関して、その正誤の組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [11]

太政官符に健児を差すべし事
大和国卅人 河内国卅人 和泉国卅人...
常陸国二百人 近江国二百人...
以前、右大臣の宣を被るに備く、勅を奉るに、今諸国の兵士、迎宴の地を除くの外、皆停地に従へ。其の兵車・鈴織及び国府等の類は、宜しく健児を差して以て守衛に充つべし。宜しく郡司の子弟を簡び差して、番を作りて守らしむべし。
(『類聚三代格』)

- X 史料によれば、全国の軍団を廃止して、新たに健児を採用することが決まった。
Y 史料によれば、健児は郡司の子弟から選ばれ、国府の警備などにあてられることとなった。

- ① X-正 Y-正 ② X-正 Y-誤
③ X-誤 Y-正 ④ X-誤 Y-誤

問5 下線部(4)について、初期荘園の特徴に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [12]

- ① 田地は、付近の農民に土地を貸す代わりに地子納めされる賃租の形で経営された。
② 田地は、名という徴税単位に分けられ、それぞれの名には請負人の名がつけられた。
③ 田地には、国衛の検田使や追捕使の立ち入りを拒否する不入の特権が与えられた。
④ 荘園絵図が作成され、山野河海を含んだ荘園の境界を示す標識として勝符が立てられた。

問6 下線部(5)について、知行国の制度に関して述べた文として適切でないものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [13]

- ① 知行国は、平氏の経済基盤となった。
② 知行国内の土地は、公領のみで構成されていた。
③ 知行国の配分権は、上皇が握っていた。
④ 知行国主は、子弟や家人を国司に任命できた。

II 次の文章を読み、下記の問(問1~6)に答えよ。

中国では10世紀初めに唐が滅亡し、五代十国の混乱期を経て、10世紀後半に遼によって再統一された。日本は宋と正式な国交を開かなかったが、博多などに来航した宋の商人によって貿易はさかんに行われ、日本からは(a)などが輸出された。日本と宋の間では文化などの交流もさかんであり、本格的に禅宗を伝えてのちに臨済宗の開祖とされた(b)などの僧侶も往来した。平安時代末期に焼失した東大寺の再建には宋の工人陳和卿らが協力し、大仏殿や南大門の建築には(c)の様式が取り入れられた。

13世紀には、急速に勢力を拡大してユーラシア大陸の東西にまたがる大帝国をつつたモンゴルは、中国を征服し国号を元とした。モンゴル(元)から日本へ朝貢を求め使者が送られてきたが、執権(d)を中心とする鎌倉幕府はこれを拒否した。元軍は(e)年間に九州北部に襲来し、さらに7年後に再来襲したが、攻撃は成功せず撤退した。これら2度にわたるモンゴル襲来により、日本と中国の間の往来は中断したものの、やがて商船の往来は復活した。室町時代初期には足利尊氏・直義が(f)を建立するため、(f)船を派遣した。

14世紀後半には、元をモンゴル高原へ追いやった明が中国を統一した。日本国内の動乱を終息させた足利義満は明に使者を派遣し、日明貿易を開始された。日本からの遣明船は(g)で査証を受け、使者は北京に赴いて明の皇帝へ朝貢した。室町幕府の衰退とともに貿易の主導権は大名などに移っていったが、16世紀前半には(g)の乱が起こり、その後、(h)氏が貿易を事実上独占した。

問1 本文中の空欄(a)~(h)に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。 [14] ~ [21]

- 14 (a) ① 刀剣 ② 陶磁器 ③ 書籍 ④ 香料
15 (b) ① 道元 ② 栄西 ③ 一遍 ④ 寂尊
16 (c) ① 禅宗様 ② 和様 ③ 折衷様 ④ 大仏様
17 (d) ① 北条時宗 ② 北条時頼 ③ 北条貞時 ④ 北条高時
18 (e) ① 文永 ② 宝治 ③ 弘安 ④ 貞永
19 (f) ① 建長寺 ② 建仁寺 ③ 天龍寺 ④ 永平寺
20 (g) ① 応州 ② 上海 ③ 三浦 ④ 寧波
21 (h) ① 大内 ② 高井 ③ 松浦 ④ 細川

問2 下線部(1)について、宋の時代に日本でおきた出来事に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [22]

- ① 瀬田道隆がまねかれて、北条得宗家の帰依を受けた。
② 鳥津氏が桂庵玄樹をまねき、朱子学を講じた。
③ 朝鮮半島の製陶技術で有田焼の生産が発展した。
④ 石見銀山が開発され、産出銀が貿易輸出品となった。

問3 下線部(2)について、元の時代に日本でおきた出来事に関して述べた次の文I~IIIについて、古いものから年代順に配列したものととして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [23]

- I 建武式目が発布された。
II 観応の擾乱が起こった。
III 二条河原に落書が掲げられた。

- ① I-III-II ② II-I-III ③ III-I-II ④ III-II-I

問4 下線部(3)について、モンゴル襲来後、鎌倉幕府が設置した機関として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [24]

- ① 九州探題 ② 奥州探題 ③ 六波羅探題 ④ 鎮西探題

問5 下線部(4)について、明に渡ったことのある次の人物X・Yと、それぞれに関して述べた文a・bとの組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [25]

- X 雪舟 Y 絶海中津
a 幕府の政治・外交顧問として、足利義満に登用された。
b 日本の水墨画を開拓して、『瓢鮎図』を描いた。
① X-a ② X-b ③ Y-a ④ Y-b

問6 下線部(5)について、日明貿易や日明関係に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [26]

- ① 遣明船は、幕府が交付した勘合と呼ばれる証書を携行した。
② 室町幕府は、倭寇を取り締まるために海賊取締命を出した。
③ 永楽通宝などの明銭は、日本で鋳造された錢よりも粗悪であった。
④ 足利義満は、明の皇帝から「日本国王」に冊封された。

Ⅲ 次の文章を読み、下記の問（問1～6）に答えよ。

近世の城郭は軍事的拠点であるとともに、城主の居館・政庁であった。ここでは天下人に関わり重要な歴史の舞台となつていくかの近世城郭についてみてみよう。

最初とりあげるのが、豊臣（羽柴）秀吉が造営した大坂城である。織田信長に長く敵対した（ a ）の本願寺の跡地に築城され、以後、豊臣氏の本拠となつたが、大坂の陣で豊臣氏が滅ぼされた後は、徳川氏の本拠として機能し、有力な譜代大名が大坂城代をつとめた。城下の（ b ）は全国一の商業都市に発展し、「天下の台所」として栄えた。幕末期の第2次長州征討の際には、出陣中の将軍（ c ）が大坂城中で急死し、さらに戊辰戦争における最初の戦いで（ d ）の際には、旧幕府軍の進撃拠点となるなど、明治時代初期にかけて重要な歴史の舞台となった。

秀吉の死後、天下人となった徳川家康が京都における本拠として造営したのが二条城である。将軍の宿所として、はじめは伏見城が用いられたが、大御所となった家康はおもに二条城を拠点とし、幕府が天皇や公家の行動を規制する禁中並公家諸法度の公布などもここで行われた。1634年には、3代将軍（ e ）が30万有余の軍勢を率いて上洛し二条城に宿泊したが、これ以後、229年間、将軍の上洛は途絶えた。幕末期には京都が政局の中心となり、1863年には将軍（ c ）が上洛して二条城に入った。続いて将軍となった徳川慶喜は、幕府の立て直しをはかるも成功せず、二条城での会議の結果、徳川氏が主導権を確保することをめざって大政奉還を行った。しかし、倒幕勢力が発した（ f ）によって樹立された新政府は、慶喜の辞官納地を決定し、その命令は勅使によって二条城の慶喜に伝えられた。

江戸城も、徳川家康が本拠とした城郭である。北条氏滅亡後に開城に移された家康は、北条氏の支城であった江戸城に入り整備を開始したが、天下人となった後は、諸大名に対して（ g ）に準じる奉公として普請役を課し、江戸城の「天下普請」の土木工事は、将軍（ e ）の頃までにはほぼ完成した。17世紀後半におこった明暦の大火では、江戸の市街地の過半が焼け、江戸城も損壊した。大火後には、江戸城内の三家の屋敷を城外に移転させるなど、城域や市街地の再編成が行われるとともに、従来の大名火消に加え、1万石未満の直参である（ h ）が火消役をつとめる定火消が設置され、さらに享保の改革の際には、町方による町火消が組織された。幕末期の1855年におこった安政の大地震では、江戸城の石垣・櫓・門が崩壊し、将軍は吹上御殿に避難した。その後、幕末期の混乱のなかで幕府の権勢は衰えていき、戊辰戦争では新政府軍の圧力の前に江戸城は無血開城され、新政府によって東京城と改称された。

問1 本文中の空欄（a）～（h）に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。 [27]～[34]

- 27 (a) ① 東 ② 西 ③ 山科 ④ 石山
28 (b) ① 入会地 ② 町人地 ③ 禁裏御料 ④ 寺社地
29 (c) ① 徳川家康 ② 徳川家定 ③ 徳川家茂 ④ 徳川斉昭
30 (d) ① 彰義隊の戦い ② 会津の戦い ③ 五稜郭の戦い ④ 鳥羽・伏見の戦い
31 (e) ① 徳川秀忠 ② 徳川家光 ③ 徳川家宣 ④ 徳川家綱
32 (f) ① 政体書 ② 五箇条の誓文 ③ 国会開設の勅諭 ④ 王政復古の大号令
33 (g) ① 軍役 ② 国役 ③ 番役 ④ 伝馬役
34 (h) ① 旗本 ② 老中 ③ 足輕 ④ 奉公衆

問2 下線部（1）について、大御所となつた次の人物X・Yと、それぞれに関して述べた文a・bとの組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [35]

X 徳川秀忠 Y 徳川家康

- a 自身の娘である和子の子が天皇として即位した。
b 自身の父に太上天皇の尊号をあてようとした。

- ① X-a ② X-b ③ Y-a ④ Y-b

問3 下線部（2）について、禁中並公家諸法度の条文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [36]

- ① 文武忠孝を励し、礼儀を正すべき事。
② 日本は神国たること、きりしたん国より邪法を授け候儀、天以て懲るべからず候事。
③ 喧嘩の事、是非に單ばず敗れ加ふべき事。
④ 武家の官位は、公家当官の外あるべき事。

問4 下線部（3）の229年間に起きた出来事に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に配列したものとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [37]

- I 参勤交代の在府期間が半減された。
II 富士山の火噴火の際に、全国一律に国役金を課した。
III 日光社参の地である日光東照宮が造営された。
① I-III-II ② II-III-I ③ III-I-II ④ III-II-I

問5 下線部（4）について、三家とは将軍後嗣を出すことができる家のことである。三家の藩として適切でないものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [38]

- ① 尾張藩 ② 紀伊藩 ③ 駿府藩 ④ 水戸藩

問6 下線部（5）について、安政の大地震の前年に締結した条約によって幕府がアメリカに新水給与の場とした港について述べた次の文X・Yと、その港の場所を示した右の地図中の位置a～dとの組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [39]



X この港は、状況に応じてアメリカ役人が駐在する場にもなった。
Y この港は、松前藩の領内であったが、条約をうけて幕府の直轄となった。

- ① X-a Y-c ② X-a Y-d
③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

Ⅳ 次の文章を読み、下記の問（問1～6）に答えよ。

1870年代、鉛活字の量産技術の導入に成功して活版印刷が発達すると、都市部を中心に「日刊新聞や雑誌」が次々と創刊された。これらの新聞・雑誌では、報道のほか政治問題の評論がなされ、新たな言論活動へとつながった。（ a ）を機に高揚した自由民権運動のなかで、民権運動家たちが新聞や雑誌で活版印刷を攻撃すると、政府は識字律・新聞紙条例を制定して反政府言論を弾圧した。

その後、国会開設の勅諭をうけて結成された政友会を背景に政党の機関紙が勢いを増し、（ b ）の徳富蘇峰によって刊行された雑誌などとともに、国民への政治思想の浸透に大きな役割を果たした。しかし、自由民権運動が衰退すると、政治評論中心の大新聞から報道・娯楽中心の大衆紙である小新聞が一般的になった。（ c ）が始まる小新聞が戦局を伝え、世論形成に貢献した。また、（ c ）後の「臥薪嘗胆」の合言葉も新聞を通じて広まった。

1900年代、義務教育の授業料が廃止されて、就学率が9割を超え、ほとんどの国民が文字を読めるようになった。さらに、大正時代には、中学校の生徒数が急増し、高等教育機関も拡充された。こうした教育に高い関心を示したのは、（ d ）に移り住み、社会員・銀行員・公務員などの権柄生活者となった新中間層であり、彼らが大衆文化を支えた。

加えて、東京（ e ）間の長距離送電も完成するなか、第一次世界大戦を契機に電気機械の国産化も進展した。こうして1920年代から1930年代にかけて、「ラジオ・映画」などのマスメディアが急速に発達し、大衆に受容された。新聞や雑誌の発行部数も飛躍的に伸び、新聞に長編小説「大菩薩峠」を執筆した（ f ）などの大衆作家が活躍した。

1930年代、満洲事変をきっかけに日本のナショナリズムは高揚し、思想・言論の取締りが強化され、ジャーナリズムのうえで、軍部の国家社会主義的な国内改革への期待が次第に支配的な論調となった。さらに、戦時体制の形成にともなって言論弾圧はさらに厳しくなり、1940年には内閣情報部が設置されて、出版物のほか、ラジオ・映画などを含むマスメディアに総合的な統制が行われ、戦争遂行のために利用されることとなった。

太平洋戦争後、GHQによる古領政策への批判は（ g ）で規制されたが、言論の自由は回復し、新聞・雑誌が数多く出版され、民主主義の成長を促した。また、1950年に（ h ）が監督をつとめた「羅生門」は、選年ヴェネツィア国際映画祭でグランプリを受賞し、日本の映画が国際的に高く評価された。その後、テレビ放送も始まった。

問1 本文中の空欄（a）～（h）に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。 [40]～[47]

- 40 (a) ① 三大事件建白 ② 民権院設立の建白
③ 福島事件 ④ ノルマントン号事件
41 (b) ① 親友社 ② 政教社 ③ 平民社 ④ 民友社
42 (c) ① 台湾出兵 ② 日清戦争 ③ 日露戦争 ④ 日中戦争
43 (d) ① ニュータウン ② グスク ③ 蔵原敷 ④ 文化住宅
44 (e) ① 猪苗代 ② 長崎 ③ 新潟 ④ 函館
45 (f) ① 石川啄木 ② 大岡昇平 ③ 中里介山 ④ 森鷗外
46 (g) ① シャープ勅告 ② ドッジライン ③ プレスコード ④ レッドパージ
47 (h) ① 太宰治 ② 黒澤明 ③ 宮崎駿 ④ 手塚治虫

問2 下線部（1）について、明治時代に創刊された新聞・雑誌として適切でないものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [48]

- ① 「赤い鳥」 ② 「日新真事誌」 ③ 「横浜毎日新聞」 ④ 「明星」

問3 下線部（2）について、明治十四年の政変に際して出された国会開設の勅諭では「特ニ明治（ A ）年ヲ期シ、議員ヲ召シ国会ヲ開キ、以テ朕カ初志ヲ成サントス」と国会開設の時期が明示された。この空欄（ A ）に当てはまる漢数字として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [49]

- ① 十五 ② 二十 ③ 二十三 ④ 三十五

問4 下線部（3）について、昭和時代の社会員・銀行員・公務員らがおかれた状況に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に配列したものとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [50]

- I 金輸出解禁や世界恐慌の影響で昭和恐慌がおこり、失業者が増大した。
II 大蔵大臣の失言をきっかけに銀行の休業が相次ぐなど、金融恐慌がおこった。
III 官公庁労働者を中心にゼネラルストライキが計画されたが、GHQの命令で中止された。

- ① I-II-III ② II-I-III ③ III-III-I ④ III-II-I

問5 下線部（4）について、ラジオ放送・映画に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [51]

X 当初のラジオ放送は、天皇が勅命を出す際に玉音放送として国民に知らせるために使用された。
Y 当初の映画はトーキーと呼ばれ、弁士が無声映画を解説するという形態であった。

- ① X-正 Y-正 ② X-正 Y-誤
③ X-誤 Y-正 ④ X-誤 Y-誤

問6 下線部（5）について、1930年代末から1940年代前半にかけてみられた政府の言論弾圧に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [52]

- ① 「古事記」「日本書紀」の神話を科学的に分析した津田左右吉が弾圧された。
② 吉野作造の天皇機関説が国体に対するとして政治問題化し、否定された。
③ 「国体」の変革を目的とする者を取り締まるため、治安維持法を制定した。
④ 日本軍兵士の実情を写實的に描いた小林多喜二の「生きてゐる兵隊」が発禁処分となった。

(解答番号 1 ~ 52)

I 次の表をみて、下記の問(問1~6)に答えよ。

宮都	遷都時の天皇	宮都の場所を軸にした場合のおもな出来事
難波長柄寺宮 : 近江大津宮	(a) 天皇 : 中大兄皇子称制	・改新の詔 → 公地公民制への移行をめざす政策方針が示される : ・最初の戸籍である (b) 年籍が作成される
飛鳥浄御原宮 : 平城京	大海人皇子 (天武天皇) : (d) 天皇	・ ¹ 聖令・国史の編纂を命じる ・八色の姓の制定 → 天皇を中心とする新しい身分秩序に編成 ・ (c) の勅造を始める : ・善鏡即位令の発布 ・長屋王の変 → 光明子の立后 ・唐から帰国した吉備真備・支助を重用 → 排除を求めて (e) の乱がおこる
藤原京 : (f)	聖武天皇 : 聖武天皇	・ ² 国分寺建立の詔を発布 ・ (f) にて、大仏造立の詔を発布 ・ ³ 聖徳太子の御葬の制定 : ・ (f) で大仏造立の詔を出した ・ (g) で大仏開眼供養が行われる ・宇佐神宮の神託が下る → (h) が神託の虚偽を暴いた
平安京	桓武天皇	・ ⁴ 平城太上天皇の遷 ・ ⁵ 延暦門の遷 ・ ⁶ 桓元の乱

問1 表中の空欄(a)~(h)に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。 [1] ~ [8]

- [1] (a) ① 皇極 ② 孝徳 ③ 斉明 ④ 欽明
- [2] (b) ① 壬申 ② 庚寅 ③ 庚午 ④ 甲午
- [3] (c) ① 開元通宝 ② 乾元大寶 ③ 和同開珎 ④ 富本銭
- [4] (d) ① 推古 ② 孝謙 ③ 元明 ④ 称徳
- [5] (e) ① 藤原藤原 ② 藤原仲麻呂 ③ 藤原不比等 ④ 藤原広嗣
- [6] (f) ① 飛鳥板蓋宮 ② 紫香室宮 ③ 藤原宮 ④ 長岡京
- [7] (g) ① 東大寺 ② 西大寺 ③ 興福寺 ④ 薬師寺
- [8] (h) ① 道鏡 ② 菅原仲真 ③ 藤原仲成 ④ 和気清麻呂

問2 下線部(1)について、改新の詔の条文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [9]

- ① 乃ち共に一女子を立てて王と為す。
- ② 今より以後は、任に私財となし、三世一身を論ずること無く、咸悉く永久に永年取る矣。
- ③ 篤く三宝を敬へ。
- ④ 旧の賦役を罷めて、田の調を行へ。

問3 下線部(2)について、天武天皇が行った律令・国史の編纂に関して述べた次の文X・Yと、該当する語句a・bとの組合せとして最も適切なものを、下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [10]

X 天武天皇の時代に編纂された律令が、後継の持統天皇の時代に施行された。
Y 天武天皇が神田阿礼によりならわせた内容が筆録された。

- a 大宝律令 b 『古事記』
- ① X-a ② X-b ③ Y-a ④ Y-b

問4 下線部(3)について、この変に関連して設けられた令外官として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [11]

- ① 蔵人頭 ② 押領使 ③ 瀬口の武者 ④ 勘解由使

問5 下線部(4)について、この変に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [12]

X この変は、大納言の伴善男が犯人として流罪に処せられた事件である。
Y この変は、現場で目撃していた貴族によって、直後に『伴大納言絵巻』として描かれた。

- ① X-正 Y-正 ② X-正 Y-誤
- ③ X-誤 Y-正 ④ X-誤 Y-誤

問6 下線部(5)について、保元の乱について述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [13]

- ① この乱は、天皇家の対立に摂関家の争いも絡んで生じた。
- ② この乱は、後白河上皇の近臣間の対立が原因であった。
- ③ この乱で、平氏は瀬戸内海を渡り、西国をおさえた。
- ④ この乱は、源氏が東国に進出するきっかけとなった。

II 次の文章を読み、下記の問(問1~6)に答えよ。

中世は、港が発達した時代であった。平安時代後期には、平清盛によって (a) が修築された。清盛はここに宋の商人をまねき、日宋貿易を振興して重要な経済基盤とした。

鎌倉時代には、¹ 鎌倉の外港として栄えた六浦の金沢に (b) が金沢文庫を設け、以後金沢北条家が多くの書籍を集めた。また、備後国の草戸千軒町は、鎌倉時代以来、中世の港町として栄えた大規模な集落遺跡である。こうした遺跡の存在や、室町時代に作成された『兵庫東開入船納帳』において、開所の通行料である (c) が記されていることから、中世の瀬戸内海域での活発な廻船の就航がうかがえる。さらに、14世紀には、畿内と (d) とを結ぶ日本海交易も盛んに行われ、(d) からサケ・コンブなど北海の産物が京都にもたらされた。

応仁の乱後、京都が経済的な求心力を一時的に停滞させたのに対し、海陸の要衝には港町が発展した。そうした状況を背景に、戦国時代には² 遠隔地取引も行われ、特に堺は自治都市として繁栄した。イエズス会宣教師 (e) は³ 『耶穌会士日本通信』の1562年書簡にて、堺について次のように述べている。

日本全国当の町より安全なる所なく、⁴ 他諸国に於て動乱あるも、此町には寧て無く、敗者も勝者も、此町に來住すれば皆平和に生活し、諸人相和し、他人に害を加ふる者なし。市街に於ては寧て紛擾⁵ 起ることなく、敵味方の差別なく皆大なる愛情と礼儀を以て応対せり。市街には悉く門ありて番人を付し、紛擾あれば直に之を閉ざすことも一の理由なるべし。紛擾を起す時は犯人其他悉く捕へて処罰す。然れども互に敵視する者町壁外に出づれば、彼等一投石の距離を超えざるも通達する時は互に殺傷せんとす。町は甚だ堅固にして、西方は海を以て、又他の關は深き堀を以て囲まれ、常に水充滿せり。
① 紛擾：騒ぎ

15世紀後半、堺は経済的に成長し、内部の訴訟問題に対応した有力商人からなる (f) によって運営され、(g) 氏の勢力圏のなかで、日明貿易にも参加した。さらに、16世紀半ばの⁶ 天文法華の乱後には、京都から逃れてきた法華宗徒もみられた。彼らは (h) に法華宗を広める一方、そのルートで、鉄砲の製造方法を堺に伝えた。このことは、管領 (g) 氏が (h) から鉄砲が到来したことを本能寺に感謝し、(h) にも書状を遺わせたことを述べた書状が本能寺に残っていることからうかがえる。このように、中世の港町は経済・文化の拠点として機能した。

問1 本文中の空欄(a)~(h)に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。 [14] ~ [21]

- [14] (a) ① 大輪田泊 ② 大湊 ③ 小浜 ④ 博多
- [15] (b) ① 北条実時 ② 北条高時 ③ 北条泰時 ④ 北条義時
- [16] (c) ① 段銭 ② 分一銭 ③ 棟別銭 ④ 間銭
- [17] (d) ① 教賀 ② 十三湊 ③ 箱館 ④ 坊津
- [18] (e) ① ルイス・フロイス ② ヴァリニャーノ
③ フランシスコ・ザビエル ④ ガスパル・ヴィレラ
- [19] (f) ① 月行市 ② 年行司 ③ 会合衆 ④ 林下
- [20] (g) ① 細川 ② 長宗我部 ③ 大内 ④ 毛利
- [21] (h) ① 佐渡島 ② 隠岐島 ③ 種子島 ④ 屋久島

問2 下線部(1)について、中世の鎌倉でおこった出来事に関して述べた次の文I~IIIについて、古いものから年代順に配列したものとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [22]

- I 鎌倉公方足利持氏が幕府によって自害に追い込まれた。
- II 鎌倉五山が定められた。
- III 鎌倉殿として藤原頼経を迎えた。

- ① I-II-III ② II-III-I ③ III-I-II ④ III-II-I

問3 下線部(2)について、中世の遠隔地取引に際して用いられた替手形として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [23]

- ① 勘合 ② 信牌 ③ 割符 ④ 文引

問4 下線部(3)について、本文中の史料に関して述べた文として適切でないものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [24]

- ① 堺の町内は、敵味方の区別なく滞在できる安全地帯であった。
- ② 堺の町には門が設けられており、有事の際には閉じられた。
- ③ 堺の町外における殺傷事件についても、堺の町人が処罰した。
- ④ 堺の町は、四方を水で囲まれた要塞であった。

問5 下線部(4)について、空欄 (e) の人物が書簡を出した1562年より前の「動乱」として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [25]

- ① 小牧・長久手の戦い ② 桶狭間の戦い ③ 山崎の戦い ④ 石山合戦

問6 下線部(5)について、天文法華の乱について述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [26]

- ① この乱で、京都の法華宗寺院が、延暦寺と衝突して焼打ちを受けた。
- ② この乱で、幕府に従わない日蓮宗不受不施派が弾圧された。
- ③ この乱の目的は、布教者の日親を捕らえるためであった。
- ④ この乱で追放された本能寺などの法華宗寺院は、京都に戻ることはなかった。

Ⅲ 次の文章を読み、下記の問(問1～6)に答えよ。

江戸時代の大半は外国との交流が制限された「鎖国」の時代であったが、「鎖国」前後の時期だけでなく、「鎖国」中にも少数ながら来日し、日本人に影響を与えた外国人がいた。ここではそのなかの代表的な人物を紹介する。

徳川家康が勝利した(a)と同年の1600年、豊後に漂着したオランダ船(b)の乗組員であったイギリス人ウィリアム・アダムスは、家康の外交・貿易の顧問となり、のちに領地を与えられ、三浦接針と名乗った。『オランダ通詞』に携わるとともに、平戸のイギリス商館の設立に尽力したが、家康の死後には不遇となり、平戸で死去した。

1690年に来日したドイツ人ケンペルは、オランダ商館の医師として約2年間滞在したが、オランダ商館長の江戸参府に随行し、5代将軍(c)にも謁見した。その際には、学問を好んだ将軍からさまざまな質問を受けている。帰国後、日本での見聞をまとめた著作は、死後に『日本誌』として刊行された。この一書をのちに『元オランダ通詞志筑忠雄が「鎖国論」と題して訳したことが、日本で「鎖国」の語が使われるきっかけとなった。

日本でのキリスト教布教を志したイタリア人宣教師のソドゥッチは、1708年、屋久島に潜入したが捕らえられ、江戸に送られた。江戸では、幕政に関与していた朱子学者(d)から尋問を受け、キリシタン屋敷に幽閉されて1714年に死去した。(d)は、その尋問で得た知見を『采覧異言』『西洋紀聞』にまとめたが、これらは洋学(蘭学)の先駆けとされている。

アリュシャン列島に漂着した(e)日本人漂流民を返還するとともに、日本との通商を求めて1792年、根室に来航したのはロシア使節のラクスマンであった。(f)は、松浦で幕府側と交渉したが、長崎以外での交渉を拒否され、長崎への入港許可証を与えられ退去した。のち、1804年に長崎に来航したロシア使節(f)はこの入港許可証を携えていた。

ドイツ人シーボルトは、オランダ商館付の医師として1823年に来日した。幕府の許可を得て長崎郊外に(g)を開き、西洋医学を教授して高野長英らを育てた。1828年に帰国する際には、国外特出厳禁の日本地図を幕府天方であった(h)からひそかに入手していたことが発覚し、国外追放処分となった。のち幕末期に追放処分は解除され、1859年に再来日して幕府の外交顧問などをつとめた。

問1 本文中の空欄(a)～(h)に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。 [27] - [34]

- [27] (a) ① 賤ヶ岳の戦い ② 関ヶ原の戦い ③ 大坂夏の陣 ④ 長祿の戦い
- [28] (b) ① ミズーリ号 ② モリソン号 ③ リーフデ号 ④ フェートン号
- [29] (c) ① 徳川家光 ② 徳川吉宗 ③ 徳川家斉 ④ 徳川綱吉
- [30] (d) ① 新井白石 ② 田沼意次 ③ 松平定信 ④ 水野忠邦
- [31] (e) ① 大黒屋光太夫 ② 高田屋嘉兵衛 ③ 茶屋四郎次郎 ④ 紀伊国屋左衛門
- [32] (f) ① グローウニン ② プチャーチン ③ レゾノフ ④ ヤン・ヨーステン
- [33] (g) ① 通塾 ② 松下村塾 ③ 鳴滝塾 ④ 蕨岡塾
- [34] (h) ① 伊能忠敬 ② 渋川春海 ③ 高橋至時 ④ 高橋景保

5

問2 下線部(1)について、いわゆる鎖国体制が定まってくる過程に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に配列したものをとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [35]

- I スペイン船の来航を禁止した。
- II ボルトガル船の来航を禁止した。
- III 日本人の海外渡航と帰国を全面禁止した。

- ① I - II - III ② I - III - II ③ II - I - III ④ III - I - II

問3 下線部(2)について、朱印船などによる海外渡航や海外渡航者に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [36]

- X 海外に移住した山田長政は、アヌタヤの日本町を自治的に運営した。
- Y 朱印状のほかに、新たに奉書船制度が始まった。

- ① X - 正 Y - 正 ② X - 正 Y - 誤
- ③ X - 誤 Y - 正 ④ X - 誤 Y - 誤

問4 下線部(3)について、志筑忠雄が抄訳したものをとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [37]

- ① 『解体新書』 ② 『ハルマ和解』 ③ 『蘭学階梯』 ④ 『曆象新書』

問5 下線部(4)について、松前をはじめ江戸幕府および諸藩はさまざまな地域で外国人や異民族と接触した。このことに関して述べた文として適切でないものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [38]

- ① 松前藩はアイヌとの交易権を家臣に与えたが、この制度を商場知行制という。
- ② 対馬藩は、朝鮮の釜山に設けられた倭館を通じて、交易を行った。
- ③ 薩摩藩は、琉球王国の通商交易権を掌握したうえ、琉球産の黒砂糖を上納させた。
- ④ 長崎では、明の商人のために唐人屋敷と呼ばれる居住地を設けた。

問6 下線部(5)について、シーボルトに西洋医学を学んだ高野長英は、のちに渡辺半山と蘭学を学び、高南会に参加した。高野長英(X)・渡辺半山(Y)と、その作品a～dとの組合せとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [39]

- a 『戊戌夢物語』 b 『夢の代』 c 『西域物語』 d 『憤機論』

- ① X - a Y - c ② X - a Y - d
- ③ X - b Y - c ④ X - b Y - d

6

Ⅳ 次の文章を読み、下記の問(問1～6)に答えよ。

明治時代初期に、洋服の着用やざんざり頭の流行、牛鍋の食事、(a)造の建物やガス灯の設置など、洋風化の風潮が生じた。文明開化といえば、このような目に見える変化が想起されやすい。しかし、人々の習慣や価値観など、現在の私たちには当たり前とされるものが多く使われるようになったもの。この時期である。

たとえば、(b)暦の採用である。これにより、1日を24時間とし、七曜制も取り入れられ、日曜が休日となった。当初、農村部では浸透しなかったが、交通の発達や新聞の普及によって広まり、しだいに国民全体がこの時間感覚で生活するようになった。こうした時間感覚は、資本主義のもと時間を単位とする労働環境が整うなかでより浸透していった。明治政府が、労働条件の改善をはかって制定した(c)も、労働時間の限度を定めている。

『氏名』の形で人名が統一されるようになったのも、明治時代になってからである。江戸時代に(d)は武士にとって特権とされていたように、公的には必ずしも人々にとって不可欠な要素ではなかった。明治政府は、中央集権の近代国家を形成するなかで、徴兵制度を厳格に実行するために氏名の管理を必要とし、(d)使用を強制する太政官布告を出した。

また、全国各地では地域ごとに方言が使用されていたが、東京が事実上の首都として機能すると、東京の山の手言葉が日本語の標準語の母体となった。さらに、江戸時代は、話し言葉と書き言葉が一致していなかったが、(e)・尾崎紅葉らが、話すように書くことをめざす言文一致運動を展開し、(e)は『浮雲』において新文体を試みた。

こうした現在の私たちの常識は、教育制度を通じても浸透した。明治政府は国民啓蒙をめざして、1872年に(f)を公布したが、地方の実情を無視していたため、1879年に(g)が公布された。しかし、(g)も就学率の上昇にはつながらず、混乱をまねいたため、翌年には改正して小学校教育に対する政府の監督責任を強めた。その後、1886年に(h)を公布し、これに基づく文部省令で授業時数が定められた。また、1900年に改正された(h)では、国語科が新設された。このように時間や言葉は、近代国家の形成過程において国民のあいだで統一がはかれていった。

問1 本文中の空欄(a)～(h)に当てはまる語句として、最も適切なものを下記の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。 [40] - [47]

- [40] (a) ① コンクリート ② 煉瓦 ③ 木 ④ 校倉
- [41] (b) ① 授時 ② 貞享 ③ 太陰太陽 ④ 太陽
- [42] (c) ① 労働基準法 ② 労働関係調整法 ③ 工場法 ④ 治安警察法
- [43] (d) ① 姓 ② 臣 ③ 通称 ④ 苗字
- [44] (e) ① 二葉亭四迷 ② 坪内逍遙 ③ 正岡子規 ④ 樋口一葉
- [45] (f) ① 教育令 ② 学校令 ③ 学制 ④ 教育基本法
- [46] (g) ① 教育令 ② 学校令 ③ 学制 ④ 教育基本法
- [47] (h) ① 教育令 ② 学校令 ③ 学制 ④ 教育基本法

7

問2 下線部(1)について、明治時代の洋服に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [48]

- ① 国民は、私鉄が経営するターミナルパートで洋服を購入した。
- ② 国民は、テレビを通じて最新の洋服の情報を得た。
- ③ 軍人や巡査、官吏の制服として洋服が採用された。
- ④ 都会で働く職業婦人が、服装に欧米の流行を取り入れた。

問3 下線部(2)について、明治時代の交通に関して述べた文として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [49]

- ① 交通制度発達の背景には、石炭から石油へのエネルギー源の転換があった。
- ② 新橋・神戸間で、官営の東海道線が全通した。
- ③ 行財政改革のなかで、日本国有鉄道が分府民営化した。
- ④ 日本列島改造論をうけて、高速道路網の整備が進められた。

問4 下線部(3)について、徴兵制度に関して述べた文として適切でないものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [50]

- ① 徴兵制度には当初、兵役免除規定がなかったため、国民の負担は増加した。
- ② 徴兵制度に反対して、多くの農民が血税一揆をおこした。
- ③ 徴兵で構成された政府軍が、不平士族の反乱をおこした。
- ④ 太平洋戦争では、朝鮮や台湾でも徴兵制が施行された。

問5 下線部(4)について、東京に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に配列したものをとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [51]

- I 辰野金吾によって設計された東京駅が開業した。
- II 専門教育機関として、東京大学が設立された。
- III アジアではじめてのオリンピックが東京で開催された。

- ① I - II - III ② II - I - III ③ II - III - I ④ III - I - II

問6 下線部(5)について、日中戦争開始直前に文部省が発行して全国の学校・官庁に配布したのとして最も適切なものを下記の中から一つ選び、その番号をマークせよ。 [52]

- ① 『日本』 ② 『日本人』 ③ 『国民之友』 ④ 『国体の本義』

8